

ぎのわん地域づくり塾 ニュースレター

Vol. 2

主催：宜野湾市 / 宜野湾市社会福祉協議会 運営：まちなか研究所わくわく
共催：沖縄国際大学 後援：沖縄県地域振興協会

H29. 7. 24 ~ぎのわん地域づくり塾の様子をお伝えします~ 発行：宜野湾市市民協働推進課

宇地泊区の現状を知り、地域課題を学ぶ

第2回 <7月24日(月)19:00-21:30> 28名参加

地域づくり実践の現場から学ぶ
~宇地泊区の地域課題と実践~

宇地泊自治会 富名腰義政会長/高良謙二氏



第2回講座は、部屋の四隅を使い、共通点のあるグループに分かれて自己紹介や、塾に参加した動機を聞きながら、塾生同士でお互いを知ることができました。後半はモデル自治会である宇地泊区の状況、自治会活動、地域課題について、スライドと富名腰会長、高良氏へのインタビューを通して学びました。

~以下、講義より~

- 第二次大戦前は半農半漁の集落で、女性はカミアチネー（行商）で知られた。
- 商業地域をもつ典型的なベットタウン。
- 平成6年度から区画整理事業に着手、アパートや戸建て住宅が増え人口が増加。

塾生の声 ~レポートより~

~気づき・学び~

- 意外にも自治会っていろんなことをしているんだということを知った。
- 区画整理で地域の環境や住民が大きく変化した地域なんだと感じた。
- 宇地泊区は新しい地域ではあるが歴史も深い。若者も多い。
- 青年会が20年も活動していないままだということに驚き、リーダーシップを取れる人材の育成が急務だと気づかされた。

- 大型店舗が建ち並び、商業地域、交通の要所。
- 海が近く、自然が豊かだったが、自然環境は減少。
- 世帯数は1834世帯。自治会加入率は19%。
人口増加のため自治会加入率が低下している。
- 宇地泊区は地域活動は、国土交通大臣の表彰を受けたさわやかグリーン愛護会や地域支え合い活動委員会、ミニデイサービス、はつらつクラブ、防災訓練、ボウリング大会やサークル活動など。
- 青年会はなく、青年会OBが活躍している。
- 地域の課題として次のテーマの提示があった。
高齢者の出番づくり 若者の地域参加
環境づくり 防災 自由枠

地域の情報を学んだあと、グループに分かれて、宇地泊区は地域課題として提示された中から今後自分たちが取り組むテーマについて話しあいました。



~自分に生かしたいこと~

- 自分の住んでいる地域の歴史を学びたい。
- いろいろな考えの方と話し合うことで、人と人をつなげることができる様になりたい。
- 楽しく、自分らしく、無理をせず参加する。
- ニーズに基づく企画ができるようになりたい。
- 共通点を発見すると他人と話しやすい。
- 多様な立場の方の意見を聞く。

次の講座は…「話し合う」ためのスキル

~ファシリテーション~

まちなか研究所わくわく 宮道喜一氏

8月6日(日)9:00~ @宜野湾市社会福祉協議会